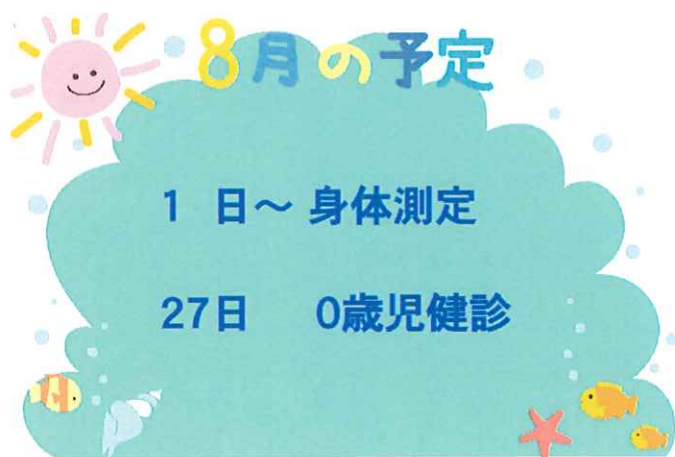


今年の梅雨は短期集中型だそうで、27日間と例年よりも短いものの、雨量は東京都心では例年の1.6倍だったとのこと。今のところ、小河内ダムの貯水率も85%程度あるため、水不足の心配はなさそうです。保育園では、毎日、暑さ指数とにらめっこしながら水遊びをしています。熱中症予防のため、朝ごはんをしっかりと食べてからの登園をよろしくお願いたします。いつもより食べが悪かった、寝坊してしまって少ししか食べられていないなど、何かありましたら、受け入れの際にお声掛けください。注意深く見守っていきます。



らいおん組
保護者のみなさまへ

MRII期の予防接種は小学校入学前の1年間に受けることを勧められています。冬になると体調管理が難しくなることが考えられます。接種予定の方は、体調が良い時を選んで早めに予防接種を受けましょう。

病院によっては、予防接種の時間を通常の外来診療と分けているところもあります。かかりつけ医にご相談ください。

予防接種の受け忘れはありませんか？

公費で受けられる予防接種は、対象となる期間が決まっています。麻しん風しん混合(MR)は、対象期間が1年と短く、水痘(水ぼうそう)も2年となっています。B型肝炎は、2ヶ月から1歳の誕生日の前日まで、3回の接種となっています。受け忘れがないか、母子手帳を見て確認してみてくださいね。

7月に入り、乳児クラスを中心に、手足口病が流行しました。その他、伝染性紅斑(りんご病)、溶連菌感染症、突発性発疹も見られています。かかった後、免疫機能が低下してしまうため、予防接種を受ける際には、いずれの疾患も治ってから2週間以上あけた方が良いと言われています。予防接種を予定している方はお気をつけください。

手足口病にご注意を

てのひら、足の裏、口の中に小さな（米粒大）の発しんや水ぼうがができる手足口病。実は、おしりや皮膚の柔らかい所にもできたり、痛みやかゆみを伴い発熱したりすることもある。また、口内炎が悪化して食欲が落ちたり、まれに髄膜炎などの合併症を起こしたりすることがあるので、注意が必要です。



登園は、熱が下がり、1日以上たって普段の食事ができるようにになったら。



7月上旬から、乳児クラスを中心に、手足口病が流行しました。今年は、39℃前後の高熱が出たり、発疹が多いお子さんが多いです。少ないですが、発熱がなく発疹のみのお子さんもいました。

手足口病はウイルスの種類がいくつかあり、何度もかかる可能性があります。

食中毒を予防しよう

じめじめした梅雨から夏にかけては、食中毒が発生しやすい時期です。

バーベキューの時には、生肉に触れた箸と食べる箸を分けるようにしましょう。また、テイクアウトをするときは、長時間持ち歩かないようにし、持ち帰ったらすぐに食べるようにしましょう。

食中毒が発生しやすくなっています。子どもたちの健康を守るためにも、この時期はご家庭でも、いつもより衛生的に過ごすように心がけてください。

予防のポイント

- 1 新鮮な食材を使う。調理してから時間がたったものは食べない
- 2 魚や肉は十分に火を通す
- 3 賞味期限や冷蔵庫を過信しない
- 4 まな板や包丁などはまめに熱湯消毒や漂白剤で殺菌する
- 5 調理前や食事の前、トイレの後にはせっけんで手指を洗う
- 6 手指に傷がある場合はブドウ球菌に感染しやすいので注意する

